

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資/国内/資産複合	特化型
信託期間	2020年4月10日まで（2015年5月8日設定）	
運用方針	円建ての外国投資信託であるJリート アンド リアル エステート エクイティ ファンド カバード・コール・ クラスの投資信託証券への投資を通じて、主としてわが 国の金融商品取引所に上場している不動産株式および 不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。また、 当該外国投資信託への投資を通じて、実質的な保有円建 て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行いつ つ（このため、基準価額は米ドルの対円での為替変動の 影響を受けます。）、円に対する米ドルのコール・オブ ションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オブ ションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲 得するカバード・コール戦略を実質的に活用します。な お、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーフ ァンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国 投資信託への投資は高位を維持することを基本としま す。わが国の不動産株式およびリーートの運用にあたって は、三菱UFJ国際投信の助言のもと、三菱UFJア セット・マネジメント（UK）が行います。また、為替 取引およびカバード・コール戦略の運用は、クレディ・ スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。	
主要運用対象	三菱UFJ Jリート 不動産株ファンド <Wプレミアム> (毎月決算型)	Jリート アンド リアル エステート エクイティ ファンド カバード・コール・ クラスおよびマネー・マーケット・マザー ファンドの投資信託証券を主要投資対象 とします。
	Jリート アンド リアル エステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス	日本の不動産株式および不動産投資信託 証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	マネー・マーケット・ マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象としま す。外貨建資産への投資は行いません。
	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含み ます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準 価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定しま す。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わ ないことがあります。なお、第1計算期末は、収益の分 配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュ ニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リス ク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対 象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄） が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としてい ます。
- ファンドは、わが国の不動産株式およびリーートに実質的に投資します。わ が国の不動産株式およびリーートには、寄与度が10%を超える又は超える可 能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中する ことがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じ た場合には、大きな損失が発生することがあります。
- \* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総 額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率 を指します。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ Jリート不動産株ファンド <Wプレミアム>（毎月決算型）

愛称：メトロポリス

第30期（決算日：2017年11月10日）

第31期（決算日：2017年12月11日）

第32期（決算日：2018年1月10日）

第33期（決算日：2018年2月13日）

第34期（決算日：2018年3月12日）

第35期（決算日：2018年4月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ Jリート不動産株 ファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）」は、去る 4月10日に第35期の決算を行いましたので、法令に 基づいて第30期～第35期の運用状況をまとめてご報 告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	配 金	騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
6期(2015年11月10日)	8,678	130	0.8	0.0	—	99.0	28,589	
7期(2015年12月10日)	8,585	130	0.4	0.0	—	98.6	32,321	
8期(2016年1月12日)	7,733	130	△ 8.4	0.0	—	99.1	31,538	
9期(2016年2月10日)	7,395	130	△ 2.7	0.0	—	98.9	30,544	
10期(2016年3月10日)	7,668	130	5.4	0.0	—	98.6	32,282	
11期(2016年4月11日)	7,277	130	△ 3.4	0.0	—	98.9	31,724	
12期(2016年5月10日)	7,387	130	3.3	0.0	—	99.0	33,872	
13期(2016年6月10日)	7,043	130	△ 2.9	0.0	—	99.4	31,982	
14期(2016年7月11日)	5,931	130	△ 13.9	0.0	—	99.0	26,179	
15期(2016年8月10日)	6,108	130	5.2	0.0	—	99.3	26,077	
16期(2016年9月12日)	5,979	130	0.0	0.0	—	99.1	24,724	
17期(2016年10月11日)	5,791	100	△ 1.5	0.0	—	99.2	23,249	
18期(2016年11月10日)	5,719	100	0.5	0.0	—	99.0	20,320	
19期(2016年12月12日)	6,356	100	12.9	0.0	—	99.3	20,968	
20期(2017年1月10日)	6,483	100	3.6	0.0	—	99.2	19,858	
21期(2017年2月10日)	6,024	100	△ 5.5	0.0	—	99.1	17,541	
22期(2017年3月10日)	5,961	100	0.6	0.0	—	99.2	16,450	
23期(2017年4月10日)	5,535	100	△ 5.5	0.0	—	99.1	14,382	
24期(2017年5月10日)	5,712	100	5.0	—	—	99.4	14,004	
25期(2017年6月12日)	5,426	100	△ 3.3	—	—	99.0	12,651	
26期(2017年7月10日)	5,317	100	△ 0.2	—	—	99.3	11,586	
27期(2017年8月10日)	5,092	100	△ 2.4	—	—	99.2	10,630	
28期(2017年9月11日)	4,791	100	△ 3.9	—	—	99.0	9,970	
29期(2017年10月10日)	5,003	70	5.9	—	—	99.0	9,988	
30期(2017年11月10日)	5,054	70	2.4	—	—	99.2	9,477	
31期(2017年12月11日)	5,089	70	2.1	—	—	99.2	9,586	
32期(2018年1月10日)	5,144	70	2.5	—	—	99.2	9,363	
33期(2018年2月13日)	4,722	70	△ 6.8	—	—	99.0	8,152	
34期(2018年3月12日)	4,591	70	△ 1.3	—	—	99.3	7,737	
35期(2018年4月10日)	4,672	70	3.3	—	—	99.2	7,662	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行いつつ、円に対する米ドルのコール・オプションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得するカバード・コール戦略を実質的に活用することにより、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率						
第30期	(期 首) 2017年10月10日	円 5,003	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% 99.0	% 99.4
	10月末	5,048	0.9	-	-	-	-	-	99.4	99.4
	(期 末) 2017年11月10日	5,124	2.4	-	-	-	-	-	99.2	99.2
第31期	(期 首) 2017年11月10日	5,054	-	-	-	-	-	-	99.2	99.2
	11月末	5,045	△0.2	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2017年12月11日	5,159	2.1	-	-	-	-	-	99.2	99.2
第32期	(期 首) 2017年12月11日	5,089	-	-	-	-	-	-	99.2	99.2
	12月末	5,099	0.2	-	-	-	-	-	99.5	99.5
	(期 末) 2018年1月10日	5,214	2.5	-	-	-	-	-	99.2	99.2
第33期	(期 首) 2018年1月10日	5,144	-	-	-	-	-	-	99.2	99.2
	1月末	5,133	△0.2	-	-	-	-	-	99.4	99.4
	(期 末) 2018年2月13日	4,792	△6.8	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第34期	(期 首) 2018年2月13日	4,722	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	2月末	4,848	2.7	-	-	-	-	-	99.1	99.1
	(期 末) 2018年3月12日	4,661	△1.3	-	-	-	-	-	99.3	99.3
第35期	(期 首) 2018年3月12日	4,591	-	-	-	-	-	-	99.3	99.3
	3月末	4,669	1.7	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2018年4月10日	4,742	3.3	-	-	-	-	-	99.2	99.2

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

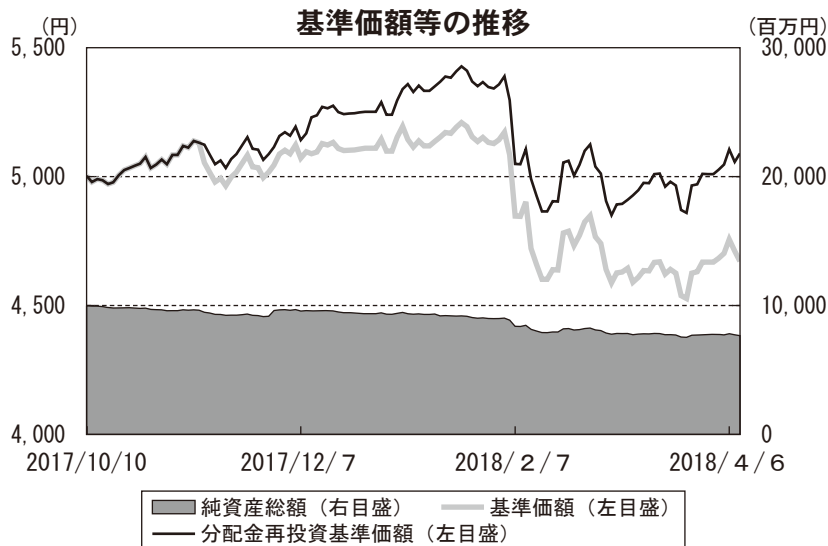
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第30期～第35期：2017/10/11～2018/4/10)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.7% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

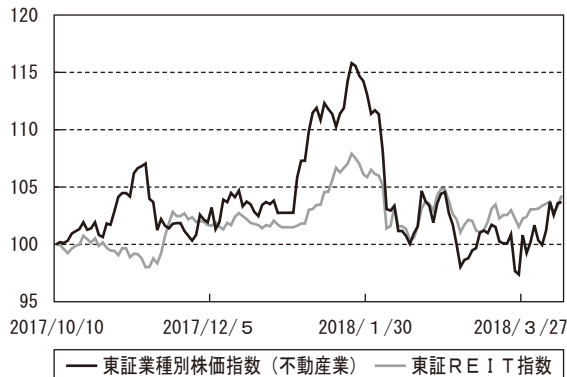
## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	オプション・プレミアム収入を獲得したことに加え、不動産株式の上昇や、国内リート市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	米ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。また、米ドルが対円で上昇した局面での円に対する米ドルのコール・オプションの売却と、不動産株式市況が上昇した局面での不動産株価指数のコール・オプションの売却に係る損失がそれぞれ発生したことも、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

(第30期～第35期：2017/10/11～2018/4/10)

(ご参考)

不動産株式およびリート市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

(注) 東証業種別株価指数(不動産業)は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄のうち、東証33業種の不動産業に区分される銘柄の値動きを示す株価指数です。東証業種別株価指数(不動産業)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証業種別株価指数(不動産業)の算出もしくは公表の方法の変更、東証業種別株価指数(不動産業)の算出もしくは公表の停止または東証業種別株価指数(不動産業)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東証REIT指数とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託証券全銘柄を対象として算出した指数です。東証REIT指数の商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は東証REIT指数の内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東京証券取引所は東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

## ◎株式・リート市況

- ・ 当作成期首から2018年1月末にかけての不動産関連株式市況は、オフィス空室率の低下や賃料の上昇などの外部環境に加え、国内企業の良い決算発表などを受けて上昇基調で推移しました。国内リート市況については、投資信託からの資金流出傾向に不服感がでてきたことや配当利回りなどで見た割安感に注目した買い需要などを背景に上昇しました。
- ・ 2月から3月上旬にかけての不動産関連株式市況と国内リート市況は、世界的な株安を背景とした投資家心理の悪化などを背景に下落したものの、3月上旬から当作成期末にかけては、割安感などを背景に買い戻しの動きが進んだことなどから上昇し、当作成期間を通じてみると上昇しました。

### 為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



#### ◎為替市況

- ・当作成期首から2017年10月下旬にかけては、米国の利上げ観測や米トランプ政権の税制改革期待などを背景に米ドルは対円で上昇したものの、11月から12月にかけては、米ドルは対円で一進一退の動きとなりました。2018年1月から3月中旬にかけては、1月下旬の米財務長官の発言を受けた米ドル安の進行に加え、米国株の下落や米国の保護主義政策などを背景としたリスク回避的な動きから円買いが進行し、米ドルは対円で下落しました。その後は、当作成期末にかけて米ドルは対円で上昇したものの、当作成期間を通じてみると米ドルは対円で下落しました。

#### ◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2018年4月10日のコール・レートは-0.055%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <三菱UFJ リート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) >

- ・外国投資信託であるJリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### <Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス>

基準価額は当作成期首に比べ2.3% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

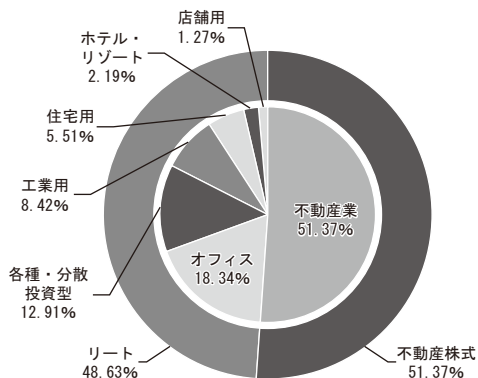
- ・わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを主要投資対象とするとともに、保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を実施しつつ、円に対する米ドルのコール・オプションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得するカバード・コール戦略を活用する運用を行いました。
- ・投資する株式およびリートについては、東京圏における売上・収益依存が高い、あるいは今後の売上・収益の拡大が期待され、東京圏の経済活性化により恩恵を受けるか等の観点で選別した不動産株式と、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想等の分析に基づき、銘柄選定を行いました。
- ・組入銘柄数は概ね52銘柄程度で推移させました。作成中には、東急不動産ホールディングスなどを新規に組み入れ、パーク24、住友不動産、日本ビルファンド投資法人などのウエイトを引き上げました。一方で、森ヒルズリート投資法人などを全株売却し、三井不動産、三菱地所、日本プロロジスリート投資法人などのウエイトを引き下げました。
- ・当作成期は、米ドルが対円で下落したことやコール・オプションの売却に係る損失などがマイナスとなったものの、オプション・プレミアム収入を獲得したことに加え、不動産株式の上昇や国内リート市況が上昇したことなどがプラスとなり、基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。

下記は、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）の資料（評価対象日基準：各ファンドへの実質的な反映日）に基づき作成した、Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンドの不動産株式およびリート部分の状況です。

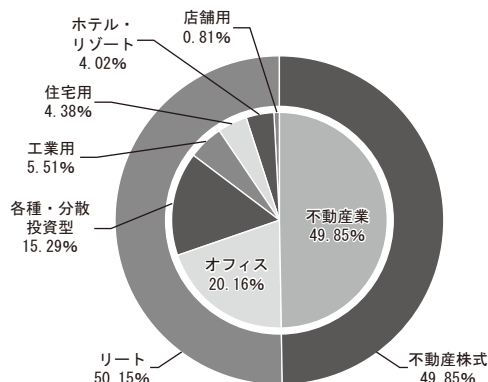
（ご参考）

証券種別および業種／用途別構成比率

2017年9月末



2018年3月末



（注）比率は現物株式およびリート評価額に対する割合です。

（注）リートの用途はG I C S（世界産業分類基準）、不動産株式の業種は東証33業種に基づいて分類しています。



下記は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドの資料（評価対象日基準：ファンドへの実質的な反映日）に基づき作成した、Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス オプション部分の状況です。

（ご参考）

### ポートフォリオ特性値

2017年9月末

#### 【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	6.42%
カバー率	48.64%
平均権利行使価格	97.25%
平均権利行使期間	31日

2018年3月末

#### 【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	5.12%
カバー率	49.13%
平均権利行使価格	99.83%
平均権利行使期間	31.5日

#### 【不動産株式カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	4.86%
カバー率	24.32%
平均権利行使価格	95.63%
平均権利行使期間	31日

#### 【不動産株式カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	6.82%
カバー率	24.57%
平均権利行使価格	99.60%
平均権利行使期間	31.5日

（注）オプション・プレミアムは、円建外国投資信託の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です。

（注）当ファンドのカバード・コール戦略におけるカバー率（円建外国投資信託の純資産総額に対するオプションのポジション）は、通貨においては米ドル部分に対して50%程度（円建外国投資信託の純資産総額に対して50%程度）とし、不動産株式においては、不動産株式部分に対して50%程度（円建外国投資信託の純資産総額に対して25%程度）とします。

（注）平均権利行使価格は、原資産価格に対する権利行使価格の水準（評価対象日基準）です。

（注）平均権利行使期間は、オプション権利行使日までの平均日数です。

### <マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行いつつ、円に対する米ドルのコール・オプションおよびわが国の不動産業株価指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得するカバード・コール戦略を実質的に活用することにより、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年10月11日～ 2017年11月10日	2017年11月11日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月10日	2018年1月11日～ 2018年2月13日	2018年2月14日～ 2018年3月12日	2018年3月13日～ 2018年4月10日
当期分配金	70	70	70	70	70	70
(対基準価額比率)	1.366%	1.357%	1.343%	1.461%	1.502%	1.476%
当期の収益	66	62	65	63	61	64
当期の収益以外	3	8	5	7	8	6
翌期繰越分配対象額	172	167	163	156	148	142

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <三菱UFJ リート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) >

#### ◎今後の運用方針

- ・外国投資信託への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

### <リート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス>

#### ◎運用環境の見通し

- ・今後の不動産関連株式および国内リート市況は、日銀の金融緩和政策が当面維持されるとみられ、低水準のオフィス空室率等を背景に総じて堅調に推移すると予想されます。リートにおいては、引き続き利回り商品として選好されると考えます。

#### ◎今後の運用方針

- ・東京圏の経済活性化の恩恵を受ける不動産株式や、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想の分析に基づき、業績が安定的かつバリュエーション面で割安感のある銘柄への投資を中心にを行います。
- ・保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を実施しつつ、前述のカバード・コール戦略を活用する運用を行います。

### <マネー・マーケット・マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2017年10月11日～2018年4月10日)

項 目	第30期～第35期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(10)	(0.200)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(19)	(0.378)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	29	0.593	
作成期中の平均基準価額は、4,973円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月11日～2018年4月10日)

## 投資信託証券

銘柄		第30期～第35期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンドカバード・コール・クラス	千口 227	千円 1,104,174	千口 599	千円 2,912,280

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月11日～2018年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年4月10日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第29期末	第35期末		比率
		口数	口数	評価額	
	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンドカバード・コール・クラス	千口 2,012	千口 1,640	千円 7,598,729	% 99.2
合計		2,012	1,640	7,598,729	99.2

(注) 比率は三菱UFJ Jリート不動産株ファンド&lt;Wプレミアム&gt; (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄		第29期末	第35期末	
		口数	口数	評価額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 6,324	千口 6,324	千円 6,440

## ○投資信託財産の構成

(2018年4月10日現在)

項 目	第35期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 7,598,729	% 96.5
マネー・マーケット・マザーファンド	6,440	0.1
コール・ローン等、その他	271,295	3.4
投資信託財産総額	7,876,464	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
	2017年11月10日現在	2017年12月11日現在	2018年1月10日現在	2018年2月13日現在	2018年3月12日現在	2018年4月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,688,830,091	9,772,777,205	9,550,039,258	8,368,390,548	7,907,200,111	7,876,464,070
コール・ローン等	94,647,138	256,399,112	256,793,336	288,076,337	218,136,311	271,294,205
投資信託受益証券(評価額)	9,396,972,321	9,509,937,461	9,286,805,290	8,073,873,579	7,682,623,168	7,598,729,233
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	6,440,632	6,440,632	6,440,632	6,440,632	6,440,632	6,440,632
未収入金	190,770,000	-	-	-	-	-
(B) 負債	211,548,144	186,016,000	187,003,184	216,247,956	169,770,603	213,466,549
未払収益分配金	131,261,272	131,867,893	127,417,698	120,859,312	117,984,451	114,817,475
未払解約金	70,459,179	44,662,202	50,390,178	85,411,758	44,765,688	91,347,280
未払信託報酬	9,800,699	9,459,652	9,169,848	9,949,329	7,000,763	7,281,370
未払利息	152	346	346	310	531	485
その他未払費用	26,842	25,907	25,114	27,247	19,170	19,939
(C) 純資産総額(A-B)	9,477,281,947	9,586,761,205	9,363,036,074	8,152,142,592	7,737,429,508	7,662,997,521
元本	18,751,610,367	18,838,270,483	18,202,528,301	17,265,616,102	16,854,921,665	16,402,496,477
次期繰越損益金	△ 9,274,328,420	△ 9,251,509,278	△ 8,839,492,227	△ 9,113,473,510	△ 9,117,492,157	△ 8,739,498,956
(D) 受益権総口数	18,751,610,367口	18,838,270,483口	18,202,528,301口	17,265,616,102口	16,854,921,665口	16,402,496,477口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,054円	5,089円	5,144円	4,722円	4,591円	4,672円

## ○損益の状況

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年10月11日～ 2017年11月10日	2017年11月11日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月10日	2018年1月11日～ 2018年2月13日	2018年2月14日～ 2018年3月12日	2018年3月13日～ 2018年4月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	130,166,635	122,775,653	123,262,542	119,080,233	109,876,612	109,314,324
受取配当金	130,171,816	122,784,686	123,267,054	119,085,615	109,880,938	109,319,232
受取利息	—	178	—	—	—	89
支払利息	△ 5,181	△ 9,211	△ 4,512	△ 5,382	△ 4,326	△ 4,997
(B) 有価証券売買損益	105,633,922	87,163,527	112,995,043	△ 717,755,593	△ 206,501,976	146,048,605
売買益	107,987,426	91,787,294	114,760,724	5,489,328	3,000,016	147,438,443
売買損	△ 2,353,504	△ 4,623,767	△ 1,765,681	△ 723,244,921	△ 209,501,992	△ 1,389,838
(C) 信託報酬等	△ 9,827,541	△ 9,485,569	△ 9,194,962	△ 9,976,576	△ 7,019,933	△ 7,301,309
(D) 当期損益金(A+B+C)	225,973,016	200,453,621	227,062,623	△ 608,651,936	△ 103,645,297	248,061,620
(E) 前期繰越損益金	△6,745,812,619	△6,359,299,864	△6,047,087,359	△5,618,642,677	△6,132,847,433	△6,153,668,031
(F) 追加信託差損益金	△2,623,227,545	△2,960,795,142	△2,892,049,793	△2,765,319,585	△2,763,014,976	△2,719,075,070
(配当等相当額)	( 325,536,839)	( 330,758,662)	( 305,051,171)	( 280,718,610)	( 262,896,344)	( 242,720,773)
(売買損益相当額)	(△2,948,764,384)	(△3,291,553,804)	(△3,197,100,964)	(△3,046,038,195)	(△3,025,911,320)	(△2,961,795,843)
(G) 計(D+E+F)	△9,143,067,148	△9,119,641,385	△8,712,074,529	△8,992,614,198	△8,999,507,706	△8,624,681,481
(H) 収益分配金	△ 131,261,272	△ 131,867,893	△ 127,417,698	△ 120,859,312	△ 117,984,451	△ 114,817,475
次期繰越損益金(G+H)	△9,274,328,420	△9,251,509,278	△8,839,492,227	△9,113,473,510	△9,117,492,157	△8,739,498,956
追加信託差損益金	△2,625,102,706	△2,975,865,759	△2,901,151,058	△2,777,405,516	△2,776,498,913	△2,728,916,568
(配当等相当額)	( 323,661,678)	( 315,688,045)	( 295,949,906)	( 268,632,679)	( 249,412,407)	( 232,879,275)
(売買損益相当額)	(△2,948,764,384)	(△3,291,553,804)	(△3,197,100,964)	(△3,046,038,195)	(△3,025,911,320)	(△2,961,795,843)
分配準備積立金	21,035	649,520	886,774	1,701,913	233,672	1,459,207
繰越損益金	△6,649,246,749	△6,276,293,039	△5,939,227,943	△6,337,769,907	△6,341,226,916	△6,012,041,595

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

① 作成期首(前作成期末)元本額 19,964,654,843円

  作成期中追加設定元本額 1,252,049,785円

  作成期中一部解約元本額 4,814,208,151円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4672円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,739,498,956円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2017年10月11日～ 2017年11月10日	2017年11月11日～ 2017年12月11日	2017年12月12日～ 2018年1月10日	2018年1月11日～ 2018年2月13日	2018年2月14日～ 2018年3月12日	2018年3月13日～ 2018年4月10日
費用控除後の配当等収益額	124,741,832円	117,228,490円	118,465,520円	109,103,647円	102,856,674円	106,188,621円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	325,536,839円	330,758,662円	305,051,171円	280,718,610円	262,896,344円	242,720,773円
分配準備積立金額	4,665,314円	218,306円	737,687円	1,371,647円	1,877,512円	246,563円
当ファンドの分配対象収益額	454,943,985円	448,205,458円	424,254,378円	391,193,904円	367,630,530円	349,155,957円
1万口当たり収益分配対象額	242円	237円	233円	226円	218円	212円
1万口当たり分配金額	70円	70円	70円	70円	70円	70円
収益分配金金額	131,261,272円	131,867,893円	127,417,698円	120,859,312円	117,984,451円	114,817,475円

## ○分配金のお知らせ

	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
1 万口当たり分配金 (税込み)	70円	70円	70円	70円	70円	70円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お知らせ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)

(2018年1月1日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。



## ○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2018年4月10日現在)

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(1,249,475千口)の内容です。

## 国内その他有価証券

区 分	第35期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,199,999	% 94.3

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

## ＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

<b>ファンド名</b>	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド カバード・コール・クラス
<b>運用方針</b>	主として日本の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長および配当収益の獲得をめざします。また保有円建て資産について、円売り・米ドル買いの為替取引戦略を活用することにより、追加的なリターンの獲得をめざします。銘柄選定にあたっては、東京圏の経済活性化により恩恵を受けると期待される銘柄に投資を行います。不動産株式および不動産投資信託証券の組入比率は、各々、純資産総額の50%程度とすることを原則とします。円に対する米ドルのコール・オプションおよび日本の不動産業株価指数のコール・オプションを売却する戦略を活用し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。
<b>主要運用対象</b>	日本の不動産株式および不動産投資信託証券
<b>主な組入制限</b>	・不動産株式および不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。
<b>決算日</b>	毎年9月30日
<b>分配方針</b>	原則として毎月分配を行う方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2017版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされていないものは「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」で掲載しています。また、「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」を「マスターファンド」と表示する場合があります。

## (1) 運用計算書

### Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド

(2016年10月1日～2017年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
	円
<b>投資収入：</b>	
純配当収入	401,202,112
その他収入	220,327
	401,422,439
<b>費用：</b>	
管理費用、保管費用	(26,393,349)
代行費用、マネージャー費用	(37,809,878)
その他費用	(31,836,221)
監査報酬	(2,379,535)
副マネージャー費用	(71,789,920)
副保管費用	(12,184,234)
受託費用	(1,401,228)
	(183,794,365)
<b>投資純収入</b>	217,628,074
<b>実現純利益(損失)：</b>	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(2,685,387,687)
実現純利益(損失) 為替予約	85,956
実現純利益(損失) オプション	1,566,116,247
	(1,119,185,484)
<b>実現純利益(損失)</b>	(1,119,185,484)
<b>未実現評価益(評価損)の純変動：</b>	
投資有価証券	3,310,577,654
オプション	183,232,474
	3,493,810,128
<b>運用による純資産の純増(減)額</b>	2,592,252,718

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド  
(2016年10月1日～2017年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
	円
<b>期首純資産</b>	30,165,209,055
<b>投資純収入</b>	217,628,074
実現純利益（損失）投資有価証券	(2,685,387,687)
実現純利益（損失）為替予約	85,956
実現純利益（損失）オプション	1,566,116,247
	(1,119,185,484)
<b>未実現評価益（評価損）の純変動</b>	
投資有価証券	3,310,577,654
オプション	183,232,474
	3,493,810,128
出資カバードコールクラス	3,646,373,809
出資米ドルクラス	273,721,307
償還カバードコールクラス	(15,768,080,000)
償還米ドルクラス	(3,174,670,000)
分配金額カバードコールクラス	(3,315,853,809)
分配金額米ドルクラス	(273,721,307)
	(18,612,230,000)
<b>期末純資産</b>	14,145,231,773

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券明細表 (the Schedule of Investments)

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド  
(2017年9月30日現在)

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<b>SHARES</b>					
<i>JAPAN</i>					
ADVANCE RESIDENCE INVESTMENT CORP	JPY	880	249,515,856	243,584,000	1.72%
DAIBIRU CORP	JPY	71,000	73,572,404	88,253,000	0.62%
DAIKYO INC	JPY	94,100	217,087,411	207,961,000	1.47%
DAIWA HOUSE REIT INVESTMENT CORP	JPY	514	140,858,392	138,471,600	0.98%
HEIWA REAL ESTATE CO LTD	JPY	99,600	162,464,095	190,933,200	1.35%
HULIC CO LTD	JPY	337,900	370,274,615	372,703,700	2.63%
IIDA GROUP HOLDINGS CO LTD	JPY	197,500	393,996,729	396,185,000	2.80%
LEOPALACE21 CORP	JPY	507,100	410,685,829	397,566,400	2.81%
MITSUBISHI ESTATE CO LTD	JPY	883,100	2,191,926,909	1,727,785,150	12.21%
MITSUI FUDOSAN CO LTD	JPY	610,200	1,864,266,884	1,488,888,000	10.53%
MORI TRUST SOGO REIT INC	JPY	1,565	295,081,869	263,546,000	1.86%
NOMURA REAL ESTATE HOLDINGS INC	JPY	90,900	202,508,985	217,978,200	1.54%
NTT URBAN DEVELOPMENT CORP	JPY	113,200	132,290,965	126,784,000	0.91%
OPEN HOUSE CO LTD	JPY	120,000	417,212,685	471,600,000	3.33%
PARK24 CO LTD	JPY	66,100	193,233,763	181,114,000	1.28%
STARTS CORP INC	JPY	87,300	220,668,460	252,558,900	1.79%
SUMITOMO REALTY & DEVELOPMENT CO LTD	JPY	245,000	868,547,375	834,225,000	5.90%
TOKYO TATEMONO CO LTD	JPY	69,900	105,971,618	100,586,100	0.71%
UNITED URBAN INVESTMENT CORP	JPY	2,327	404,596,729	383,489,600	2.71%
			8,914,761,573	8,084,212,850	57.15%
<b>TOTAL SHARES</b>			<b>8,914,761,573</b>	<b>8,084,212,850</b>	<b>57.15%</b>
<b>REAL ESTATE INVESTMENT TRUSTS</b>					
<i>JAPAN</i>					
ACTIVIA PROPERTIES INC	JPY	521	272,919,738	243,307,000	1.72%
COMFORIA RESIDENTIAL REIT INC	JPY	353	85,488,582	83,978,700	0.59%
DAIWA OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	859	512,930,029	483,617,000	3.42%
FRONTIER REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	382	183,997,737	174,383,000	1.23%
GLOBAL ONE REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	301	121,187,770	110,316,500	0.78%
GLP J-REIT	JPY	826	101,376,055	96,889,800	0.68%
HEIWA REAL ESTATE REIT INC	JPY	132	11,492,776	12,012,000	0.08%
HULIC REIT INC	JPY	732	134,662,984	121,512,000	0.86%
ICHIGO OFFICE REIT INVESTMENT	JPY	1,394	107,588,083	105,944,000	0.75%
INDUSTRIAL & INFRASTRUCTURE FUND INVESTMENT CORP	JPY	425	218,998,853	202,725,000	1.43%
INVESCO OFFICE J-REIT INC	JPY	903	92,309,409	96,801,600	0.68%
INVINCIBLE INVESTMENT CORP	JPY	5,193	261,966,184	241,214,850	1.71%
JAPAN EXCELLENT INC	JPY	575	77,170,870	76,877,500	0.54%
JAPAN LOGISTICS FUND INC	JPY	201	46,145,307	42,109,500	0.30%
JAPAN PRIME REALTY INVESTMENT CORP	JPY	85	36,217,487	31,960,000	0.23%
JAPAN REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	775	452,254,606	419,275,000	2.96%
JAPAN RENTAL HOUSING INVESTMENTS INC	JPY	1,546	125,431,728	122,752,400	0.88%
KENEDIX OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	578	351,891,141	357,782,000	2.53%
KENEDIX RESIDENTIAL INVESTMENT CORP	JPY	258	74,468,066	74,639,400	0.53%

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<i>JAPAN (continued)</i>					
LASALLE LOGIPOINT REIT	JPY	475	50,756,694	52,060,000	0.37%
MIRAI CORP	JPY	576	96,947,594	100,396,800	0.71%
mitsui FUDOSAN LOGISTICS PARK INC	JPY	465	149,715,000	152,287,500	1.08%
MORI HILLS REIT INVESTMENT CORP	JPY	358	55,856,328	48,294,200	0.34%
MORI TRUST HOTEL REIT INC	JPY	428	64,610,827	62,359,600	0.44%
NIPPON ACCOMMODATIONS FUND INC	JPY	414	189,249,176	180,918,000	1.28%
NIPPON BUILDING FUND INC	JPY	879	531,110,111	493,119,000	3.49%
NIPPON PROLOGIS REIT INC	JPY	2,593	618,819,395	614,800,300	4.35%
NIPPON REIT INVESTMENT CORP	JPY	491	146,291,549	158,838,500	1.12%
NOMURA REAL ESTATE MASTER FUND INC	JPY	1,600	261,942,199	234,080,000	1.65%
ONE REIT INC	JPY	197	39,498,603	42,808,100	0.30%
ORIX JREIT INC	JPY	1,655	288,555,370	267,282,500	1.89%
PREMIER INVESTMENT CORP	JPY	11	1,452,203	1,174,800	0.01%
SAKURA SOGO REIT INVESTMENT CORP	JPY	606	53,482,946	54,358,200	0.38%
SEKISUI HOUSE REIT INC	JPY	52	7,502,212	6,760,000	0.05%
SEKISUI HOUSE RESIDENTIAL INVESTMENT CORP	JPY	483	57,505,681	53,226,600	0.38%
STARTS PROCEED INVESTMENT CORP	JPY	342	51,951,031	52,736,400	0.37%
TOKYU REIT INC	JPY	10	1,392,723	1,371,000	0.01%
TOSEI REIT INVESTMENT CORP	JPY	80	8,444,771	8,768,000	0.06%
			5,943,581,818	5,683,736,750	40.18%
<b>TOTAL REAL ESTATE INVESTMENT TRUSTS</b>			<b>5,943,581,818</b>	<b>5,683,736,750</b>	<b>40.18%</b>
<b>TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES</b>			<b>14,858,343,391</b>	<b>13,767,949,600</b>	<b>97.33%</b>
CASH AT BANKS AND BROKERS				177,567,964	1.26%
INVESTMENTS IN OPTIONS				187,874,472	1.33%
OTHER NET ASSETS				11,839,737	0.08%
<b>TOTAL NET ASSETS</b>				<b>14,145,231,773</b>	<b>100.00%</b>

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第26期》決算日2017年11月20日

[計算期間：2017年5月23日～2017年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第26期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681
26期(2017年11月20日)	10,184	0.0	—	—	1,266

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2017年5月22日	10,184	—	—	—
5月末	10,184	0.0	—	—
6月末	10,184	0.0	—	—
7月末	10,184	0.0	—	—
8月末	10,184	0.0	—	—
9月末	10,184	0.0	—	—
10月末	10,184	0.0	—	—
(期末) 2017年11月20日	10,184	0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

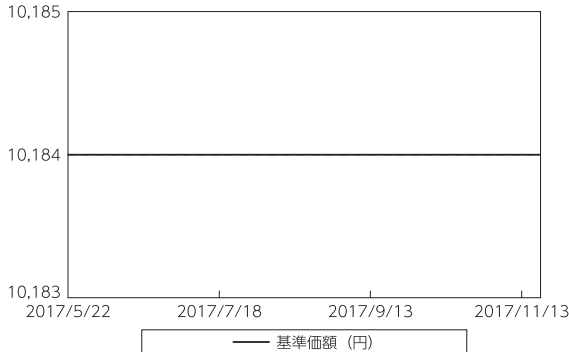
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年11月20日のコール・レートは-0.047%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われれます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。



## ○1万口当たりの費用明細

(2017年5月23日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2017年5月23日～2017年11月20日)

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 162,499,934	千円 162,899,937

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年5月23日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,199,999	% 94.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,199,999	% 94.4
コール・ローン等、その他	71,624	5.6
投資信託財産総額	1,271,623	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月20日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,271,623,466
コール・ローン等	71,623,500
其他有価証券(評価額)	1,199,999,966
(B) 負債	5,066,562
未払解約金	5,066,444
未払利息	118
(C) 純資産総額(A-B)	1,266,556,904
元本	1,243,696,990
次期繰越損益金	22,859,914
(D) 受益権総口数	1,243,696,990口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,184円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,651,473,732円  
 期中追加設定元本額 203,575,952円  
 期中一部解約元本額 611,352,694円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0184円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	313,747,092円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	62,265円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	31,213,655円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	143,999,990円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,383,743円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	26,506,400円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,386,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	344,406円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,013,964円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	9,071,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	75,631,547円

## ○損益の状況 (2017年5月23日~2017年11月20日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 11,420
受取利息	3,609
支払利息	△ 15,029
(B) 当期損益金(A)	△ 11,420
(C) 前期繰越損益金	30,374,272
(D) 追加信託差損益金	3,745,720
(E) 解約差損益金	△11,248,658
(F) 計(B+C+D+E)	22,859,914
次期繰越損益金(F)	22,859,914

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	1,364,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,647,957円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,979,971円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	140,355円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	1,008,013円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	31,208,972円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	5,622,977円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	69,931円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカム分散コース<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	12,234,366円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	14,819,878円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	24,184,985円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	243,113円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	1,809,102円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	38,413,663円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	979,536円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	8,473,583円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	2,464,335円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	5,920,244円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,551,577円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	16,492,587円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	3,165,280円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,000円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	256,285円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	982円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネーボールファンド	1,853,235円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	9,991,647円
ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
合計	1,243,696,990円